



「新入生諸君への期待」

岩手県立農業大学校 校長 菊池 徹哉

大いなる希望を胸に、岩手県立農業大学校に入学された新入生52名の皆さんを心より歓迎いたします。

我が国の農業は、グローバル化や人口減少社会への対応、そして昨年来のコロナ禍における消費の落ち込みによる農産物価格の下落など、様々な厳しい課題を抱えております。

このような課題を解決し、安定的な食料供給力を高め、そして農村地域の活性化を図るためには、高度な知識と技術を身につけるとともに、withコロナを念頭に置いた新たな農業スタイルの確立や、SNSを活用した農産物の情報発信の展開など、豊かな創造力と感性を持った優れた人材を育成する本校への期待はますます高まってきております。

新入生諸君は、あらゆる分野で自己の可能性に挑戦し、感性を磨き、意欲的に勉学に励んでください。大学校での2年間は、瞬く間に過ぎていきます。

大学校で学んだ後、社会が学生諸君に求めることは、「どこの学校を卒業したか」ではなく、「大学校で何を学び」、「何ができるようになったのか」、そして「自分が取り組みたい目標(志)を持っているか」ということです。

これからの2年間、学生諸君が農業に関わる「道」を切り開いていくにあたり、岩手県立農業大学校は、できる限りの支援をさせていただくことを約束いたします。

学生自治会長として 学生自治会長 谷川 瑛希(農産経営科2年)



1年生の皆さん、入学おめでとうございます。

そして、ようこそ岩手県立農業大学校学生自治会へ！私達は皆さんを大歓迎します！

今年度の学生自治会は、総寮長を筆頭に寮生活を積極的に改善していく動きがあります。

私は、学生自治会をけん引していく立場として、学生が充実した生活を過ごせるよう、学生自治会を円滑

に運営していきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症は未だに世界規模で流行し、本校でも日々の生活に影響が出ています。引き続き感染症対策を徹底した上で講義や専攻実習に取り組み、将来の夢の実現に向け、努力を惜しまず、残りの学生生活を精一杯過ごしていきたいと思っております。



皆さんを歓迎します！（2年生44名）

新 入 生 メ

農産経営科



農産経営科1年 大槻 圭徹 (おおつき ようと)

私は、普通科の高校に通っていましたが、地元の農業を守る一員となるために農業大学校に進学しました。初めは、今まで学ぶことがなかった農業の学習についていくことや寮生活に不安を感じましたが、先生や先輩方がわからないことについて優しく丁寧に教えてくださったのですぐに生活に慣れることができました。これからは、仲間とともに目標に向かって進んでいきたいです。

農産経営科1年 佐藤 洋夢 (さとう ひろむ)

私は今まで、本格的な農業に触れる機会がありませんでした。しかし、数日間過ごした中で学べたことはとても多かったです。これから先も学習を重ねていくにつれ、私の農業初心者ゆえの懸念は払拭されてゆくでしょう。

無論、大変なこともあると思います。ですがそれもここでの学校生活を続け、力を身につけ、乗り越えていきたいです。

野菜経営科



野菜経営科1年 大日向 伯優 (おおひなた はくゆう)

私は将来の夢であるスイカ農家になるために、農大で基本的な事から専門的な事までを学びたく入学しました。最初は寮生活に慣れず、大変なことが多かったですが、先輩方が色々教えてくれるので、とても心強かったです。

農大では農業の知識だけではなく、社会性も学ぶことができると思うのでとてもおすすめです。お互い切磋琢磨して頑張っていきましょう。

野菜経営科1年 熊谷 香 (くまがい かおる)

岩手県立農業大学校に入学し、朝早くの管理当番や寮生活などは、初めての経験で大変なことも多いですが、自分に足りないことを明確にする良い経験だと思っています。

これから2年間、難しい問題も仲間と協力して解決し目標に向かってがんばりたいです。

果樹経営科



果樹経営科1年 高橋 重哉 (たかはし しげや)

入学当初は、慣れない寮生活をとても不安に感じていました。しかし、新しくできた友達のおかげで、安心して生活できるようになりました。実習で習うことは将来で必ず必要となるぐらい専門的な内容なので、まじめに勉強し、充実した2年間を過ごしたいです。

果樹経営科1年 千葉 あやの (ちば あやの)

4月に入学し、これまでとは違う生活が始まるのが、とても不安でいっぱいでした。しかし、すぐに同級生とも仲良くなったので、不安は無くなりました。授業では、初めて知ることや専門用語に苦戦しながらも、将来に活かしていけるように、多くのことを吸収していきたいです。

ツセージ

花き経営科



花き経営科1年 川内 梨渚(かわうち りな)

私は花きの栽培技術やフラワーアレンジメントについて深く学びたいと思い、農業大学校に入学しました。今はまだ慣れないことも多く、不安もありますが、これから実習や座学をとおして専門的な知識・技術を身につけていきたいです。2年間というのはとても短いですが、限られた時間を大切に、充実した日々ができるよう新しい仲間と共に頑張っていきたいと思っています。

花き経営科1年 渡邊 絢佳(わたなべ あやか)

私は秋田県の農業高校出身なのですが、寮生活は初めてだったので、少し不安がありました。入学してみると、優しい先輩方や先生、共に入学した仲間たちのおかげで、毎日楽しく充実した学校生活を送っています。農大での2年間で、花きに関する知識や技術を身につけ、自分の将来のために活かしていきたいです。また、資格や免許にも挑戦していきたいと考えています。

酪農経営科



酪農経営科1年 大井 悠愛(おおい ゆうあ)

私は宮城県出身で、オープンキャンパスに参加して岩手県立農業大学校に入学したいと思いました。

親は非農家ですが、私は酪農のことを高校の時よりも専門的に学び、将来は牧場などで働きたいと考えています。将来のためにたくさんのお金を学んでいきたいです。

酪農経営科1年 瀬川 泰生(せがわ たいせい)

私の家では酪農を営んでいて、将来は家を継ごうと考えています。出身校は農業高校で、さらに深く農業を知りたいと思い、農業大学校へ進学しました。まだ分からないことがいっぱいありますが、これからもっと学習していきたいです。

将来の夢を叶えるために仲間と共に協力し、一生懸命生活していきたいと思っています。

肉畜経営科



肉畜経営科1年 朝倉 晴(あさくら はる)

私は農大に入学して良かったと思っています。学習面と寮生活の2つにおいて、とても充実していると感じています。ですが、高校とは違い、やるかやらないかは自分次第になってくるので、積極的に色々なことに挑戦したいと思っています。また、自分たちのクラスの目標である良質な子牛の生産に向けて努力し、他にも家畜人工授精師の資格の取得を目指し、クラスのみならず協力して頑張りたいと思っています。

肉畜経営科1年 片岡 凜太郎(かたおか りんたろう)

農大に入学してみて、まず思ったのは、とてもしっかりした学校だということです。寮内での生活や学校での授業など、どれも皆が一生懸命学べる環境が整っていると感じました。自分には、将来的には、短角牛の繁殖をしたいと思っています。そのため、この農大の学びやすい環境の中で、自分に必要なことを全て吸収し、本当に使える力を身につけていきたい。また、人間的にも、寮生活の中で、成長していきたいと思っています。

入学式～夢と希望に向かっての決意～



新入生代表による誓いの言葉



菊池校長式辞

4月9日(金)、令和3年度入学式を本校体育館で挙行了しました。本科新入生52名が入学を許可され、大志に向かって農業技術・知識の習得に励む決意を新たにしていました。

式典では、新型コロナウイルス感染症対策として、御来賓を3名とさせていただいたほか、在校生は学生自治会長のみ、保護者は新入生1名につき1名までの出席限定などの対策を取りました。

そのような中でも、入学許可の際、担任からの呼名に対して一人一人から力強い返答があり、逆境をはね返し夢に向かう決意が感じられました。

次に、式辞として菊池徹哉校長が「実践教育・先進教育・全寮制教育という本校の特色をよく理解のうえ、自己の可能性に挑戦し、感性を磨き、勉学に励んでほしい。志をしっかりと持ち、主体性を持って粘り強く取り組んでほしい。」と述べました。

その後、佐藤隆浩県農林水産部長による知事告辞があり、御来賓の関根敏伸県議会議員及び高橋由一金ヶ崎町長（本校後援会長）から御祝辞を賜りました。

続いて、学生自治会長の谷川瑛希さん（農産経営科2年）が「実習や当番など辛いこともあるが、初心を忘れず、夢の実現に向け切磋琢磨し、農大での生活を充実させてほしい。在校生もサポートするので遠慮せず相談してほしい。」と歓迎の言葉を述べ、新入生代表の小野寺拓真さん（果樹経営科）が「農業界を盛り上げられる人材となるよう、緑豊かで雄大なキャンパスの中で農業の技術や知識を高め、農業の担い手となるよう勉学に励んでいきたい。」と決意を述べました。

新入生は、それぞれの夢と大志の実現に向けて大専校生活をスタートしました。

令和2年度卒業生の進路

(令和3年3月31日現在 単位：名)

	進路	人数	内 訳
本科 卒業生 52名	就農	9	花巻市、北上市、葛巻町、紫波町、大槌町、秋田県横手市、東京都立川市
	雇用就農 (農業法人等)	25	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)西部開発農産、(一社)北上市機械化農業公社、農事組合法人水分農産、農事組合法人となん、(有)田鎖農園、(株)いわて若江農園、(株)いわて銀河農園、(合同)安比グリーンファーム遠藤、(株)リアスターファーム、(有)マルショウ農園、(株)T&Gバイオナーサリー、(有)サン農園 【農産園芸学科】 ・北日本JA畜産(株)藤沢牧場、(有)岡外牧場、(株)重次郎、(有)キロサ肉畜生産センター、菊池長悦(畜産)、独活倉畜産(嵯峨裕紀)、(株)KOIWA 【畜産学科】
	農業研修	3	群馬県館林市、北海道士別市、秋田県農業研修センター
	進学	3	新潟大学農学部、弘前大学農学生命科学部、新潟食料農業大学
	就 職	農業団体	6
農業関連企業等		2	ミネックス(株)、(株)日本ニューホランド
公務員等		2	岩手県農業公社
	一般企業等	2	社会福祉法人愛護会(フラワーセンターあいご)、(株)ゼントクコーポレーション

当 面 の 予 定	6月1日	知事講話
	6月23日	学生自治会スポーツ大会
	7月21日～8月17日	夏期休業
	7月31日、8月6日	オープンキャンパス
	8月30日～9月2日	前期定期試験(本科1年)

